

美術科学習指導案

日 時 平成 2 5 年 1 1 月 1 9 日 (火)
5 校時

学 級 1 年 C 組
指導者 富高 郁子
場 所 美術室

1 題材名 「一生懸命を彫る～暮らしの中の木版画～」

2 題材について

一生懸命な人の姿は美しい。版画の場面選びはいつも大変である。実際に体験した生活の場面を題材とするも、生徒は、なかなか良い場面をあげることができない。今年は、そのきっかけとして「一生懸命」という言葉を入れた。漠然と生活の一場面というよりも、一生懸命に何かをする人を描くことによって、生徒の発想を刺激し、作品に思いを込められればと考えた。

版画は印刷された最終段階においては間接的な絵画表現である。その制作過程は計画性と論理的思考が要求され、さらに「彫り」「刷り」における技術的要素が作品に大きく影響する。その難しさが生徒の集中力や持続力を養い、また木版画の大きな魅力といえる。木版画の制作過程（下絵、墨入れ、彫り、刷り）は、それぞれが独自の内容を持ちながら、表現としては連続性を持って発展する。それぞれの制作過程の要素をステップごとにしっかりと学習させ、到達度評価により生徒のつまづきを把握し、実態に即した指導（助言や資料の提示）をしていけば多くの生徒に成就感を持たせることができると考えている。

3 題材の目標

木版画の美しさに気づきその特性を生かして表現できる。

- ・ 主題を明確に表すための画面構成が工夫できる。【発想や構想の能力】
- ・ 主題を強調するための白と黒の配置や強調、省略ができる。【発想や構想の能力】
- ・ 刀の特質を生かした効果的な彫りと美しい刷りができる。【創造的な技能】
- ・ 下絵～彫り～刷りの一貫したプロセスを計画的に、根気強くやり通すことができる。
【興味・関心・態度】
- ・ 互いの作品を鑑賞し、木版画の美しさに気づくことができる。【鑑賞の能力】

4 指導計画 2 1 時間扱い

- ・ **導入**（木版画の鑑賞と特質の理解） 1 時間
版画と絵画の違い、木版画の表現方法について考える。
- ・ **題材探し** 1 時間
学校、家庭、地域、その他にわけ、木版画の題材にふさわしい場面を考え、絞り込

んでいく。

- ・ **下絵の制作** 3 時間
 お互いがモデルをし合い、画面構成を工夫しながら下絵を制作していく。
- ・ **転写** 1 時間
 トレッシングペーパーに下絵を写し、裏返して版木に固定し、ばれんでこすり、転写する。
- ・ **墨入れ** 2 時間
 白と黒の計画を立て、黒くする部分に墨をぬる。全体的に薄墨をぬる
- ・ **彫り** 8 時間
 彫りの練習の後、彫りの計画を立て、丁寧に彫っていく。 (本時 1 / 8)
- ・ **試し刷り、修正彫り** 2 時間
 刷りの技法を学び、1 枚試し刷りをし、修正を加える。
- ・ **本刷り** 2 時間
 ていねいに刷り、作品を完成させる。
- ・ **作品鑑賞** 1 時間
 お互いの作品を鑑賞し、感想を発表する。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 彫刻刀の種類と彫り方の基礎を学び、試し彫りをすることによって、彫りの技法を身につけることができる。
- ② 作品の主題に合わせ、彫りの工夫をしながら、彫りの計画を立てることができる。

(2) 本時の展開

過程	時配	生徒の活動	○教師の支援 ★評価
導入 1	10	○墨入れの工夫を発表する。 ・ 主題は何か ・ 白と黒の配分 ・ 陰影の付け方 ・ 白と黒の割合 など	○2～3人の発表とする。 ○電子黒板を使って図示しながら説明できるようにする。 ★伝わるように工夫しながら発表し、静かに聞くことができたか。 (興味・関心・態度)
導入 2	10	○本時の学習について知る。 試し彫りをしながら、彫刻刀の特性や彫り方の基礎を学び、木版画の彫りの計画を立てよう。	

○彫刻刀の種類について知る。

- ①丸刀 ②小丸刀 ③平刀
- ④切り出し刀 ⑤三角刀

○試し彫り（彫刻刀の使い方練習）の方法について知る。

- ・版木の裏に台にのったリングを描き墨入れする。
- ・薄墨をぬる。

<正しい彫刻刀の持ち方>

- ・鉛筆と同じ持ち方で
- ・手を開いて平らに持つ
- ・左手の人指し指を刀の上にそえる

○刀の名前を図を示しながら確認していく。

○彫り跡の図も示す。

○事前に全員の版木の裏に墨でリングの絵を描き、影も書き入れておく。

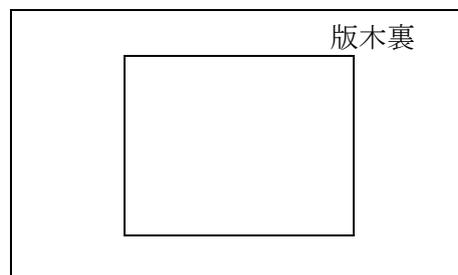
○各班に薄墨、刷毛、ティッシュペーパーを用意しておく。

○薄墨をぬり、ティッシュペーパーで軽く水気を取り、濃さの調節と余分な水分をふき取ることを説明する。

○映像を電子黒板に流しながら、彫刻刀の持ち方、彫り方を説明していく。

・切り出し刀は板に対して垂直に立てて引くように切る。

○左手の指をそえることで力の調節ができ、ケガを防止になる。



		<p><試し彫り手順></p> <p>①切り出し刀でリンゴと台の線に切り込みを入れる。</p> <p>②小丸刀で切り込みに向かって5mmほどの幅で彫る。</p> <p>③背景を緩やかな線を描きながら彫る。</p> <p>④リンゴの中身を丸刀を使い、曲線で彫る。</p> <p>⑤台の部分を平刀で彫る。</p>	<p>○手順の映像を電子黒板で流しながら、説明していく。</p> <p>○それぞれの段階を版木に彫り、参考資料として提示していく。</p> <p>★静かに説明を聞くことができたか。(興味・関心・態度)</p>
展開1	1 5	<p>○版木の裏に薄墨を塗り、試し彫りをする手順の通りに彫っていく。</p> <p>①→②→③→④→⑤</p>	<p>○彫刻刀の使い方を注意してみている。</p> <p>○全てを彫りあげると時間がかかるので、手順③は1/3程彫り終えたら、次の④に進ませる。</p> <p>○手順④⑤も同様。</p> <p>○彫刻刀の彫り方に慣れたようであれば、表の作品の彫りに進ませていく。</p> <p>★彫刻刀を正しく持ってきれいに彫ることができたか。(創造的技能)</p> <p>★集中して彫ることができたか。(興味・関心・態度)</p>

展 開 2	10	<p>○作品のどこからどう彫り始めるか、彫りの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョークや色鉛筆で線を書き入れる。 ・個人で考える。 ・周りの友だちと考える。 	<p>○彫りの不十分な生徒は、そのまま続けさせていく。</p> <p>○いろいろな彫り方の参考作品を提示することによって生徒をいい意味で悩ませでいく。</p> <p>○余白に彫りの練習をさせても良い。</p> <p>★作品の主題に合わせ、彫りの工夫をしながら彫りの計画を立てることができたか。 (発想や構想の能力)</p>
ま と め	5	<p>○制作カードに今日の反省を記入する。</p>	<p>★授業を振り返ることができたか。(興味・関心・態度)</p>

(3) 本時の評価

- ①彫刻刀の種類と彫り方の基礎を学び、試し彫りをすることによって、彫りの技法を身につけることができたか。 【創造的技術】
- ②作品の主題に合わせ、彫りの工夫をしながら彫りの計画を立てることができたか。 【発想や構想の能力】
- ③集中して授業に取り組むことができたか。 【興味・関心・態度】